

# 低タンパク米で日本酒

## 県内初「春陽」で醸造

### 能登町の農業法人と酒造

能登町当目の農業組合 発された春陽での日本酒  
 法人岩井農産はこのほ の醸造は、県内ではこれ  
 ど、地元酒造と連携し低 が初めて。  
 タンパク米「春陽」で 醸造は同町宇出津の数  
 仕込んだ日本酒を試作し 馬酒造が担当し、能登社  
 た。腎臓病患者向けに開 氏が約320以上の日本酒

### 味や効能を調査

を作った。麹菌を植え  
 付ける麹米に酒米「五百  
 万石」を使い、体内に取  
 春陽を使った日本酒の  
 試作品の味を確かめ  
 る棚田さん(左)

能登町当日



り込まれやすいタンパク  
 質の含有量がほかの米に  
 比べて30〜40%少ない春  
 陽ならではのすっきりと  
 した飲み口の酒に仕上げ  
 た。

春陽はカロリーも低い  
 ことから、腎臓病患者を  
 はじめ生活習慣病に悩む  
 人やダイエット中の人に  
 好まれている。

岩井農産は昨年から  
 生産を始め、約7トンを取  
 穫。能登ではまだ知名度  
 の低い春陽の特徴を広く

伝えるため、能登社氏の  
 技で米のエッセンスとも  
 言える酒とし、気軽に春  
 陽に触れてもらうため、  
 棚田昭男代表理事(66)が  
 酒造りを企画した。

試作品は、耕作者や取  
 引先の関係者らに配布さ  
 れ、味や効能についての  
 調査を行う。より深みの  
 ある味わいや香りを出す  
 ために酵母や麹の組み合  
 わせを凌えて今年も仕込  
 み、早ければ来年も販  
 売する予定。

句先は、〒929-0345、  
 津幡町太田い91、加藤  
 定雄さんまで。  
 吟行は、同町が木曾  
 義仲と巴御前を主人公  
 にした大河ドラマの誘  
 致活動を推進すること  
 を目指し、義仲が戦勝  
 を祈願した小矢部市の  
 壇生護国八幡宮を訪れ  
 る。  
 問い合わせは、加藤  
 さん＝076(288)3262＝  
 まで。

### 兼題は「菖蒲」「燕の子」

津幡俳壇は、6月5  
 日に津幡町の中条公民  
 館などで開催する「夏  
 季吟行句会」(北國新  
 聞社後援)の投句を受  
 け付けている。

#### 津幡俳壇が募集

兼題は「菖蒲」「燕の  
 子」。投句料は4句1  
 組1千円で、5月10日  
 必着となっている。投